

第15号

群大病院 地域連携だより

- 病院の理念
患者さん中心の医療を推進する
- 基本方針
- 一、 先進医療の開発と実践
 - 一、 次代を担う医療人の育成
 - 一、 地域医療への貢献

入退院センターの役割

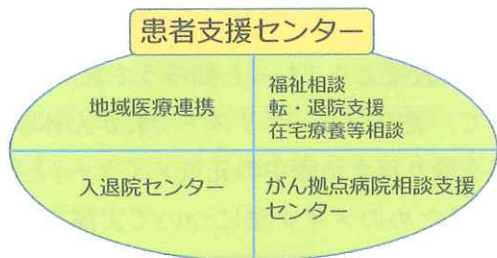
患者支援センター 副センター長 大山 良雄



当院の患者支援センターには、図1に示しますように、大きく分けて、①地域医療連携、②入退院センター、③福祉相談、④がん拠点病院相談支援センターの4つの機能があります。地域の医療機関の皆様におかれましては、地域医療連携部門に関心があると思いますが、今回は、当院に入退院センターが設置されてから半年が経過しましたので、入退院センターの業務内容を少し紹介させていただきます。

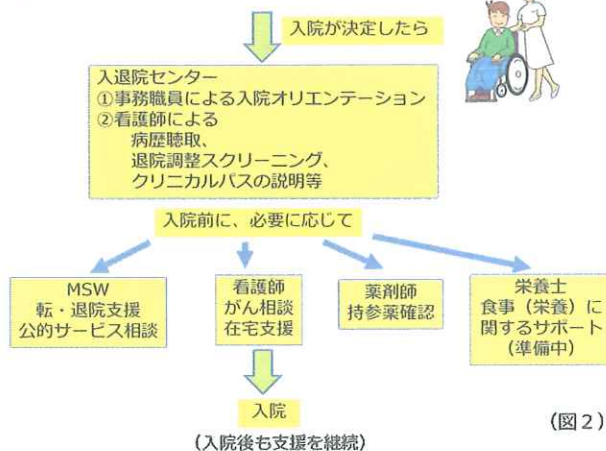
入退院センターの役割を簡単にまとめますと図2のようになります。入院予約をいただいた時(緊急入院は除く)から実際に入院するまでの期間に、通常の事務職員による入院オリエンテーションに加えて、看護師による病歴聴取、退院調整スクリーニング、クリニカルパスの説明等を行います。つまり、患者さんの身体的・社会的・心理的問題を入院前に把握し、必要に応じてMSW、看護師、薬剤師、栄養士によるサポートを入院前から行います。そして、入院前に得られた情報は、入院時に病棟スタッフに伝えられます。このように、入院前から患者さんと密にかかわりを持つことにより、患者さんが安心して入院できる環境を整えることができます。実際に、入院前に入退院センターのスタッフに話を聞いてもらって良かったとの意見が患者さんの家族から届いています。医療安全を推進する立場からも、多くの職種のスタッフが早期から介入することは望ましいことだと思います。まだ、患者支援センターのスタッフが少ないために一部の病棟のみの対応になっていますが、今後は、スタッフを増員して入院されるすべての患者さんに対応させていただく予定です。

「無縁社会」、「孤族の国」と呼ばれる現代社会では、ますます、入退院センターを含めた患者支援センターの役割が重要になると感じています。特に、地域の医療機関の皆様との医療連携は、最重要課題です。群大病院における地域医療連携のあり方に関する忌憚のないご意見を、ぜひお聞かせください。何卒、よろしくお願い申し上げます。



(図1)

入退院センターの役割 ～ 入院前から始まる退院支援 ～



(図2)

群馬大学医学部附属病院
患者支援センター (連携担当)

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号
電話 027-220-7733
FAX 027-220-7777

患者支援センターホームページ

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

～ お知らせ ～

初診予約申込に係る診療情報提供書の FAX 送付のお願いについて

当院では、特定機能病院として地域医療機関との連携を図るため、FAX 申込による初診患者の外来診療予約を導入しているところですが、患者サービスをより一層充実し診察を行うため、FAX 申込時に診療情報提供書も合わせて送付をお願いしております。

申込時に診療情報提供書が完成していない場合は、後日で結構ですので FAX 送信をお願いいたします。諸事情により申込時または後日での FAX 送信が不可能な場合は、予約当日に患者さんに持参していただければ結構です。可能な範囲での対応をお願いいたします。

泌尿器科初診予約枠の変更のお知らせ

当院泌尿器科の初診予約枠は、10 月より下記のとおり変更となりました。

【これまで】

【10 月から】

第 1・4 月曜日

→ 毎週 月・火・木曜日

予約受付は、医療機関より FAX にて受付をしております。

ご不明な点は患者支援センター 027-220-7733 へお問い合わせください。



～ 開催報告 ～

群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座

6 月 9 日（土）に群馬会館を会場として、群馬県におけるがん対策推進を目的に、患者及びその家族、医療関係者、行政担当者が交流や意見交換を行う市民講座を開催しました。

今年度は乳がんをテーマとして、当院の堀口乳腺・内分泌外科准教授より「もっと知ろう！乳がんのこと」と題して乳がん・検診 PR を行いました。さらに特別講演として、美容ジャーナリストで乳がん体験者である山崎多賀子氏をお招きし、「キレイになって外に出よう！ー私を取り戻す治療中の元気メーカー」と題して、症状とのつきあい方や、治療中でもいきいきとキレイでいられるためのメイク法について実演を交えた講演が行われました。

当日は雨という悪天候にも関わらず 200 名近くの方々にご参加いただきました。講演後の交流茶話会も盛況であった他、アンケートでは「話がわかりやすく具体的で大変参考になった」「とても楽しく明るい気持ちになることができた」といった好意的なご意見を多くいただきました。



第3回地域医療連携施設交流会

7月19日(木)に前橋市商工会議所にて、現在までに当院との間に連携施設として登録している地域医療機関の関係者をお招きして、群馬大学医師会共催、群馬県医師会後援のもとに、地域に根ざした病院として、地域医療機関との前方・後方連携体制をより強固なものとし、相互理解をさらに深めることを目的として、今回第3回目となる地域医療連携施設交流会を開催し、180名の参加をいただくことができました。

交流会Ⅰ部では野島病院長の挨拶に続き、鶴谷嘉武群馬県医師会会長、中屋光雄前橋市医師会会長から来賓挨拶を頂戴し、群馬大学医学部附属病院との医療連携の今後の拡大と発展に期待する声をお寄せいただきました。また、当院の取組の紹介として、患者支援センター活動報告の他、今年度から開始となった入退院センターの運用報告、MSWによる支援困難者の報告、がんパスについて情報提供が行われました。その後、引き続き交流会Ⅱ部で来賓・職員紹介の後、活発な議論及び意見交換が行われ、盛況のうちに会を終了しました。



第2回・第3回地域連携講演会

昨年度から地域医療をテーマとし、医療機関関係者を対象として、患者支援センター主催で行っている講演会で、第2回講演会を9月27日(木)に自治医科大学アレルギー・リウマチ科の簗田清次教授を招聘して「リウマチ治療における地域連携の重要性」と題した特別講演を開催し、第3回講演会として11月1日(木)に自治医科大学地域医療学センター長・梶井英司教授をお招きして、特別講演「地域医療におけるプライマリ・ケア ～漢方治療を取り入れて～」を行いました。大学病院における地域医療連携を長年に渡り構築されてきた先駆的な経験談を中心にご講演いただき、各回50名に及ぶ参加者が熱心に聴講しました。



今後も患者支援センターによる各種企画については、ホームページ新着情報等で随時告知いたします。より多くの方々に関心を持ってもらえるよう、地域医療の発展及び充実を目指し、地域医療機関との連携の強化を進め、地域住民の皆様のお役に立てる病院を目指し努力してまいりますので、ご支援並びにご協力のほど、よろしくお願いいたします。

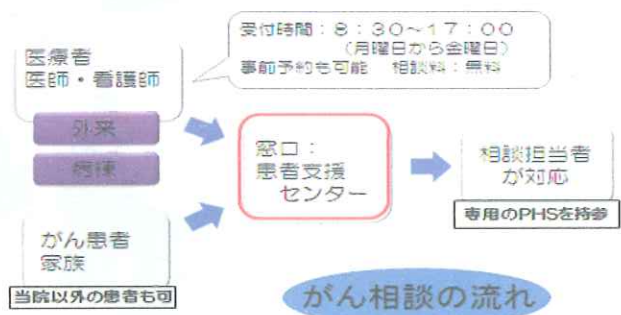


なごみサロンの紹介

開催日時 毎月最終水曜日
 * 12月 は第3週に開催
 午後1時から3時
 場所 外来棟1階
 患者支援センター
 対象者 がん患者さん
 ご家族
 参加者 患者支援センター
 看護師・MSW・時に学生
 あくまでも主体は患者さん



がん相談の紹介



平成24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
延べ件数(件)	184	159	180	161	181	140	192	1197
新規(件)	70	77	96	83	99	92	105	622
継続(件)	112	81	82	77	82	48	87	569
実人数	119	108	134	115	129	116	152	873